

山形県大石田町「そばの里 大石田町の歴史と文化・未来に向かって」

プログラム概要	：	大石田町にて街の魅力を体験し紹介する
実習先	：	大石田町（山形県 大石田町）
実習先情報	：	人口約6600人、豪雪地帯、最高積雪279cm、主な産業は農業 大石田町固有のそばの品種「来迎寺在来」
参加人数	：	8名（1班）
学部学科	：	人間科学科、アントレプレナーシップ学科、経営学科、幼児教育学科、 データサイエンス学科、日本文学文化学科
実習期間	：	令和5年8月21日～8月23日
本学担当教員	：	芳賀亮作（教育学科）

○はじめに

私たちは山形県大石田町に行き、歴史や文化を自ら体験しながら学んできました。

○実習内容

- 8/21 講義（大石田町の概要、歴史と文化）
虹の町案内人による町内巡り・芋煮体験
- 8/22 そば打ち体験・次年子窯の陶芸体験
銀山温泉見学
- 8/23 地域おこし協力隊による講義



銀山温泉の夜景

○提案したこと、発信したこと、など

KOE no KURAの宣伝を活発にする。
SNSを活用し、夏祭りの存在をアピールする。
最上川を利用したカヌーなどのレジャー施設を作る。



十割そば打ち体験

○経験したこと、学んだこと、など

1日目は大石田町の概要、歴史と文化の講義を直接聞いた後、虹の町案内人の方による町内巡りをし、山形の郷土料理である芋煮作りをしました。2日目は、そば道楽の会の方のご指導のもとでそば打ち体験をし、午後には次年子窯で作る陶芸体験をしました。また、千と千尋の神隠しのモデルともなった銀山温泉の見学もさせていただき、とても幻想的な景色を見ることが出来ました。3日目には地域おこし協力隊の方による講義を聞きました。3日間の滞在で私たちは実際に体験し見たことで東京とは違った魅力を多くの場面で学びました。また、町内巡りではネットで調べても分からないような歴史を自分たちの目を通して現地で学ぶことが出来たのも実習ならではの発見であったと思います。そして、地域おこし協力隊の方々のお話やさまざまな体験をするときにご指導いただいた大石田町の方々のお話を通して、大石田町の皆さんの心の温かさや優しさを多くの場面で感じる事が出来ました。

○今後の展開、今後の学び、など

銀山温泉に向かう外国人に対してどのようにすれば大石田町にお金を落としてくれるのかを考える。

○まとめ

3日間を通して、東京とは違った魅力、地域性の強さを直接目で確認できました。大石田町の歴史と文化について学ぶことができました。



次年子窯での陶芸教室

○担当教員コメント

本プログラム「山形県大石田町「そばの里 大石田町の歴史と文化・未来に向かって」」の最初に訪問した班でしたので、私も活動に合流することができ様子を見ることができました。8人全員が協力して楽しそうに活動している姿が印象的でした。

成果発表のプレゼンでは、大石田町の様子が分かる写真をふんだんに使い、視覚優位にまとめており、分かりやすかったです。また、1班の皆さんが笑顔で活動している様子が分かりうれしく思いました。次年子窯の内部を紹介した動画は内部に吸い込まれそうな感覚を覚えました。「感じた利点」では、自然豊かな山と川に感動し、出会った町の皆さんの丁寧で優しい対応に感謝していました。このことは、私も同じように感じました。活動を通して「感じた改善点」では、地域おこし協力隊の知名度を上げることや「KOE no KURA」の宣伝力を高めることに言及していました。これからも1班の皆さんが、大石田町の発展に様々な面から応援していくことを期待しています。

教育学科 芳賀亮作

○実習先コメント

3日間の実習お疲れさまでした。猛暑の中での実習になり体調管理が難しかったのではないかと思います。実質2日間の実習でしたが芋煮づくり、そば打ち、陶芸などを体験していただきました。また夜の銀山温泉の見学では、他にはない雰囲気と田舎の夜空の美しさを感じていただけたことと思います。

成果発表では、体験したこと、自分の目で見て感じたことがまとめられてよかったと思います。提案いただいた改善点ですが、町の中を移動するためのレンタカーやレンタサイクルなどのサービスの充実など、どれも観光客を呼び込むために重要なことだと思います。

新そばの提供が始まる10月下旬から冬にかけては、夏の大石田町とは違った魅力を感じていただけたと思いますので、また大石田町へお越しいただければと思います。

大石田町総務課 小玉大輔

プログラム概要	： 大石田町の歴史や伝統、魅力を知る
実習先	： 山形県大石田町
実習先情報	： 人口約6600人の町 最上川が流れている 千本だんごが有名
参加人数	： 8名（2班）
学部学科	： 日本文学文学科、経営学科、人間科学科、データサイエンス学科、教育学科
実習期間	： 令和5年8月23日～8月25日
本学担当教員	： 芳賀亮作（教育学科）

○はじめに

私たちは2泊3日で大石田町に訪れ歴史や文化、魅力を講習や体験を通して学びました。

○実習内容

- ・大石田町の概要と歴史についての講義
- ・芋煮づくり ・蕎麦打ち体験
- ・陶芸体験で茶碗を作った ・銀山温泉の見学

○提案したこと、発信したこと、など
大石田町をより良くするために駅周辺の発展と駅中の発展の2つを考えた。

そのために、駅の近くに十割蕎麦のお店を作る・蕎麦打ち体験の場を作ること、駅の中に大石田の人々が作った白地図を貼ること、駅に雪像や次子燦の作品を置き観光客にSNSで配信してもらうなどのことを提案した。

○経験したこと、学んだこと、など

総務課の小玉さんや地域おこし協力隊の方々のお話を聞いて、大石田町の歴史や伝統行事、大石田の名産品、地域おこし協力隊の活動内容など様々なことを学びました。お話を聞いての学びの他にも芋煮作りやそば打ち、陶芸など自らが体験しながら学ぶことも多くありました。これらの体験を通して、製作方法や郷土料理の味の魅力はもちろん地域の方々の親切さ、優しさも体感することができました。

他にも町探索や銀山温泉の見学を行いました。見学を通して水や緑あふれる景色などさらなる魅力を見つけることができました。

また、地域の方にいただいたスイカを食べましたがとても甘くて絶品でした！

3日間のフィールドスタディーズで多くの地域の方々に協力していただきましたが、特に総務課の小玉さんにはほとんどの活動で付き添いをしていただき本当に感謝しかありません。3日間ありがとうございました。

大石田町の魅力をたくさん知ることができたのでまた訪れたいと思います。



1日目の夕飯「芋煮」作り



十割そば作り、そば切りの様子

○今後の展開、今後の学び、など大石田の魅力がたくさん知ることができたので、大石田駅に着いてすぐ銀山温泉に人が流れないように、駅周辺や駅中を魅力ある場所にすると共に大石田の魅力を積極的に伝えていき滞在時間を増やすことを提案したいです。



銀山温泉の夜景（2日目の夕方）

○まとめ
今回の体験で人の温かさと自然のよさを改めて実感しました。東京では見れないような綺麗な空や美味しいお水も飲めてたくさんの魅力を知ることができました。

○担当教員コメント

2班の皆さんは、大石田町へのオンラインでの成果発表では、「街の魅力」を様々な角度から紹介することができました。最初の「芋煮」を紹介するページでは、芋煮名人の早坂みち子さんのお話を真剣に聞いている様子はすてきでした。山形名物の美味しい芋煮を皆さんが食べることができたこと、良かったと思っています。

大石田町への提案として、駅の活用についてありました。駅に、白地図のようなものを設置し、町の皆さんに「お勧めの場所」を付箋紙に書いて貼ってもらう提案でした。初めて大石田町を訪れた人にも町の魅力を分かってもらう提案だったと思いました。また、大石田駅に次年子窯の大型陶器をおいて町の焼き物についてアピールする提案も具体的で実現可能だと感心しました。今後も皆さんが、大石田町の魅力を発信するのを期待しています。

教育学科 芳賀亮作

○実習先コメント

3日間の実習お疲れさまでした。猛暑の中での実習になり体調管理が難しかったのではないかと思います。実質2日間の実習でしたが芋煮づくり、そば打ち、陶芸などを体験していただきました。また夜の銀山温泉を見学では、他にはない雰囲気と田舎の夜空の美しさを感じていただけたことと思います。

成果発表では、活動内容を項目ごとに分けてわかりやすく説明していただきました。また、観光客が大石田町に滞在する時間が短いなどの課題に対して、3つの解決策を提案していただきましたが、特に、駅に雪像などを置き、観光客からSNSで発信していただくことで大石田町の知名度を上げるという考えはインバウンド対策も含め、短い時間で対応可能な対策だと思います。

今度は、冬にお越しいただき、白銀の世界を体験していただければと思います。

大石田町総務課 小玉 大輔

山形県大石田町 「そばの里 大石田町の歴外文化・未来に向かって」

プログラム概要	:	大石田町の歴史・文化に触れながら体験学習をする
実習先	:	大石田町内（山形県大石田町）
実習先情報	:	山形県の北東にある町 人口約6600人（2023）面積 79.5km ²
参加人数	:	8名（3班）
学部学科	:	経済学科、人間科学科、数理工学科、看護学科、法律学科 データサイエンス学科、
実習期間	:	令和5年8月28日～8月30日
本学担当教員	:	芳賀亮作（教育学科）

○はじめに

私たちは2泊3日で大石田町の魅力や地域事情などを実際に体験学習を行い、町の活性化につながる提案をそれぞれが主体的に考えた。

○実習内容

- ・大石田町の概要と課題の講義
- ・最上川と大石田町の歴史についての講義
- ・大石田町めぐり
- ・芋煮づくり
- ・そば打ち体験
- ・陶芸体験
- ・銀山温泉観光
- ・地域町おこし協力隊の方の講義



そば打ち体験の場面

○大石田町の活性化に向けて提案したこと、発信したこと、など

- ・デジタルデトックス体験を大石田町で！
- ・日本人だけでなく外国人を対象としたおもてなし
- ・テレワークや長期休暇の方々へ安く家を貸し出す
- ・ワーケーションの導入
- ・観光名所や特産品を生かしたお土産の開発、販売
- ・子育てしやすい町づくり
- ・住み込みアルバイトで移住体験
- ・有名観光名所の銀山温泉を利用する



そばの実を栽培している畑

○経験したこと、学んだことなど

知らないことを知るためには、自分の目で見て体験することが重要なのだとこの学外学修を通して学ぶことが出来た。私たち若者はSNSの発展により色々な情報を端末一つで取得することができ知った気になる。しかし、事前学習で大石田町のことをSNSを使って調べたが実際現地に足を運んで体験をすると調べていたもの以上の魅力がまだまだ沢山あった。

○今後の展開、今後の学びなど

上記の学んだことの通り、知識を習得するためには自分自身で実際に体験することによってより具体的な内容になると思う。今後の大学生活、そして社会人になっても何かを探究することは続くためSNSだけの情報に縛られないようにする。

○まとめ

多くの方々のご協力があり、三日間楽しく活動することが出来ました。ありがとうございました。この経験は今後の人生に盛大に活かしていきたいと思えます。

○担当教員コメント

大石田町の皆さんへの成果発表、興味深く聞かせてもらいました。1日目の活動報告では、最上川に架かる大橋の写真と共に、最上川を使った紅花と米の舟運について分かりやすく説明することができました。また、松尾芭蕉や斎藤茂吉を紹介でき、文化的側面からの紹介ができました。このように視点を変えた発表ができたのはとても良かったと思えました。3班の観察力の高さを感じました。

大石田町への提案では、テレワークや長期休暇の方々に空き家の貸し出しについて述べました。併せて、都会を逃れて落ち着いた場所で生活したいと思っている人をターゲットに、ワーケーションを導入する提案もありました。これらは大石田町にぴったりの取り組みになると思えました。インターネット社会に対応した試み、3班の皆さんも将来の生活の場として大石田町への移住を考えてみてはどうでしょうか。

教育学科 芳賀亮作

○実習先コメント

3日間の実習お疲れさまでした。猛暑の中での実習になり体調管理が難しかったのではないかと思います。実質2日間の実習でしたが芋煮づくり、そば打ち、陶芸などを体験していただきました。また夜の銀山温泉を見学では、他にはない雰囲気と田舎の夜空の美しさを感じていただけたことと思えます。

成果発表では、写真をうまく配置して体験したこと、自分の目で見て感じたことをわかりやすくまとめられていたと思えます。

地域活性化に向けての提案では、空き家を活用したワーケーションや子育て支援、住み込みアルバイトでの移住体験（農作業体験）など、実践的な内容の解決策を提案していただきました。

新そばの提供が始まる10月下旬から冬にかけては、夏の大石田町とは違った魅力を感じていただけたと思えますので、また大石田町へお越しいただければと思えます。

大石田町総務課 小玉大輔

山形県大石田町「そばの里 大石田町の歴史と文化・未来に向かって」

- プログラム概要 : 大石田町の歴史や文化について体験し、魅了を感じる
 実習先 : 山形県大石田町 虹のプラザ、あったまりランド深堀、ブリッジ次年子窯
 実習先情報 : 人口約6600人、豪雪地帯、最高積雪279cm、主な産業は農業
 冬の積雪による豊かな水や、昼と夜の大きな寒暖差によって米、すいか、そばの栽培が盛んであり地域の特産物となっています。
 大石田町固有のそばの品種「来迎寺在来」
 参加人数 : 8名(4班)
 学部学科 : 日本文学文化学科、データサイエンス学科、看護学科、人間科学科、教育学科
 実習期間 : 令和5年8月30日～9月1日
 本学担当教員 : 芳賀 亮作(教育学科)

○はじめに

3日間で大石田のさまざまな歴史や文化について学んだ

○実習内容

町役場の方の話を聞く
 町探検(虹の町案内人のガイドによる)
 芋煮作り
 そば打ち体験
 陶芸教室
 地域おこし協力隊の方のお話



次年子窯の陶芸教室

○提案したこと、発信したこと、など

- ・移住希望説明会で、VRを使い大石田町を疑似体験する。
例えば、移住希望説明会でVRを使い大石田町を疑似体験してもらい移住率UPにつなげる。
- ・グランピング施設の設定
- ・規格外のスイカを使ったサービスの提供
- ・ファミリー層をターゲットにした昆虫事業として昆虫博物館、虫バイキングを行う
「虫バイキング」とは一定の区域内に養殖した虫を放ち、時間制限を設けバイキング方式で虫取りができる仕組みです。これなら必ずお目当ての昆虫を獲得できます。また昆虫博物館で昆虫を育てる際に必要となるであろうスイカゼリや手頃なサイズの木々を販売し、地元の農業、林業の活性化に繋がります。



そば打ち体験

○経験したこと、学んだこと、など

そば打ち体験や陶芸体験で自分が住んでいる地域ではできないことを経験し、そこからたくさんのお話を学べた

○今後の展開、今後の学び、など

協力することの大切さを学んだので、今後グループ活動をするときにどうしたら作業がうまく進むかなどを考えるなどに活かしていきたい。

○まとめ

大石田町の方々の素晴らしい人柄や、美味しい食べ物に触れることができ、普段の生活とは違った良さを発見することができた。集団行動を行う中で協調性について学んだので今後の生活にも活かしていきたい。



3日目のまとめの場面

○担当教員コメント

成果発表のプレゼンでは、1日目の大石田町探検を行ったことを発表していました。400年の歴史を超える名刹「乗船寺」の紹介や最上川の舟運文化について分かりやすく、また興味を抱かせる内容の発表に感心しました。

大石田町への提案では斬新なものが多くありました。都会に住んでいる移住希望者に対しVR体験により、大石田町のよさを視覚を通して実感してもらう内容がありました。これは大石田町の皆さんに興味・関心をもっていただいたと思いました。また「昆虫博物館」の提案も実に面白いと思いました。大石田町は自然豊かで多くの種類の昆虫が生息しています。今から30年ほど前の実体験です。私が大石田町に帰省した折、カブトムシを2匹捕まえました。そのカブトムシを東京の自宅まで持ってきて育てたのです。秋になりカブトムシは死んだのですが、卵を産んでいて翌年の春羽化しました。この時、命が繋がっていくことや命の大切さを実感したのです。4班の「昆虫博物館」の提案は夢のある素晴らしい内容だと思いました。

教育学科 芳賀亮作

○実習先コメント

3日間の実習お疲れさまでした。猛暑の中での実習になり体調管理が難しかったのではないかと思います。実質2日間の実習でしたが芋煮づくり、そば打ち、陶芸などを体験していただきました。また夜の銀山温泉を見学では、他にはない雰囲気と田舎の夜空の美しさを感じていただけたことと思います。

成果発表では、町の概要、歴史・文化、そば打ち体験や陶芸教室など、わかりやすくまとめられていたと思います。

町の活性化に関する提案では、VRによる移住体験やグランピング、昆虫博物館などを提案していただきました。VRによる移住体験は、都会にしながら大石田町を体験していただけるいい案だと思います。

新そばの提供が始まる10月下旬から冬にかけては、夏の大石田町とは違った魅力を感じていただけたと思いますので、また大石田町へお越しいただければと思います。

大石田町総務課 小玉大輔